



門真市庁舎エリアみらいコンセプトブック

職員みんなが **イキイキ** と働き、

行き交う市民が **ワクワク** するような

新しい門真市の **リーディングエリア** をめざして・・・



透明性の確保された
会議室での白熱した
議論から新しいアイデアも。



遠くの自治体や専門家と
つながる。良い事例は
すぐに門真の参考に！

こどもの世話をしながらも
働ける。こどもも親も
ともに成長できる環境。



市役所内にもオシャレで
落ち着ける空間。
気分転換も必要です。



仲間との気軽な
コミュニケーションが
仕事にとってとても重要。



季節のいい時は、
ちょっぴり門真を離れて
ワーケーションも。

自宅にしながら働ける。
誰もが働きやすい環境に
優秀な人材が集まります。



まちのことを考えるなら、
市役所の外だってOK！
時にはカフェで打ち合わせ。



みんなで描き、みんなでつなく このまちがキャンバスに



庁舎エリアは市民、団体、事業者、職員、みんながつながり、仲間となって、
未来の門真を思い描き、表現する場所に生まれ変わります！

庁舎エリアは、無限の可能性が広がる真っ白なキャンバス。
さまざまな境界や垣根、既存の枠組みを取り払い、新しい庁舎エリアをめざします。

市役所と庁舎エリア整備の考え方

現状



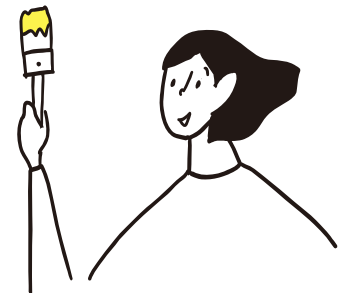
目指す方向

老朽化し、自由度の低い
これまでの市役所

仕切られた縦割りのセクション
限られた市民スペース
不足する共用スペース

開放的でゆるやかにつながる
風通しのいい市役所と庁舎エリア

セクション横断でシームレスな職場環境
市民も職員もまちづくりのパートナー
誰もが気軽に集まる広場のような庁舎



Various colors make Kadoma colorful !!



7+つの色で

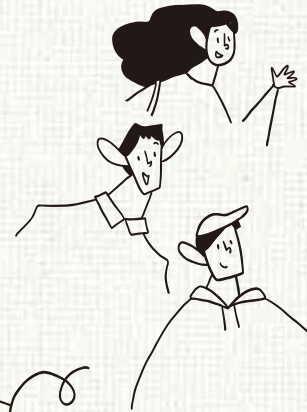
門真のまちをカラフルに

庁舎エリアにおける一体的なまちづくりを実現するため
令和3(2021)年に設置した
「庁舎エリア整備プロジェクトチーム」(以下、PT)。

所属横断的にさまざまな部署から集まったおおむね入庁から
15年以内の職員10名で構成し、庁舎エリアでのこれからの
あり方について議論を重ねてきました。

右に示す7つの色で示したテーマは、議論の成果として
未来の庁舎エリアのあり方を取りまとめたものです。

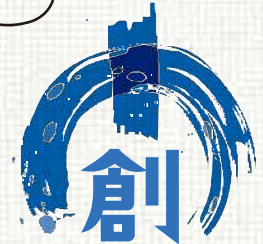
門真の「門」の字を
モチーフにしたこのマークには、
これからの庁舎エリアのテーマを
漢字1文字で表現しています。



P.05-06

うみだす

自由なスタイルの働き方が
アイデアをもたらします!



P.07-08

チャレンジ

失敗を恐れず、
新しいことにも果敢に挑戦!



P.09-10

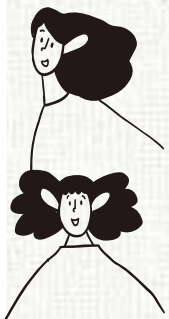
こちよき

メリハリある
ワークスタイルで
こちよく働く!



ワンチーム P.11-12

市民も、事業者も、市役所も！
みんな門真を彩る仲間たち。



P.11-12

つながる

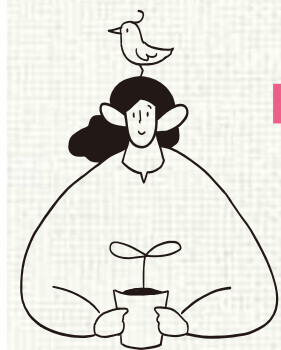
いろんな人が集まり、
つながり、笑顔あふれる！



P.13-14

おもいやり

人に、まちに、環境に！
おたがいへの気づかいを
大切にします。



P.13-14

にぎわい

ここは手続きのためだけの場所じゃない。
にぎわい、憩う、暮らしを豊かにする場所！



あなたと一緒に！

左の7色にとどまらず、
ぜひあなたも、自分らしい色を
持ち込んで門真をさらにカラフルに。



《本冊子のみかた》



A テーマ

庁舎エリアをカラフルにするために大切にしたいテーマ

B シーン

テーマを具体化した場面とそのイメージイラスト

C シナリオ

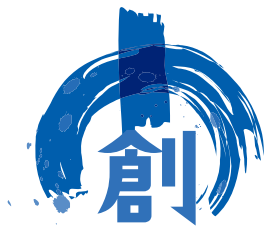
PTメンバーが2人1組で対話をする中で想像した将来の日々のシーン

D トライアルプロジェクト

PTメンバーによる新たな庁舎エリアに向けたトライアルレポート

E ポイント

新しい庁舎エリアでのワークスタイルにおいて大切にしたいこと



うみだす

自由なスタイルの働き方がアイデアをもたらします！



SCENE_01

セクションフリーのワークスペースは
今日もアイデアであふれている。

日頃関わりのない部署ともコミュニケーションが取れる
大きなデスク。思いがけないヒントをもらえたり、
お互い刺激し、部署を越えたプロジェクトもはじまる予感。



SCENE_02

働く場所もシーンに
合わせて柔軟に。

オンラインメンバーを加えた議論やミーティング、
個別ルームでの相談、目的に応じて働く場所を
変えることで日々の仕事もスムーズに。

SCENE_03

オープンエアな
会議スペースも悪くない。

環境を変え、緑あふれるテラスや広場での
開放的な打ち合わせにより、心身ともに
健康を保て、いろんなひらめきが生まれてくる。

▶ 庁舎エリア整備課・里さんのある日

思いがけない会話から生まれるアイデア

コーヒーを淹れてイスに座ると、向かいで3年先輩の〇〇さんがパソコンとにらめっこしていた。「お疲れ様です」と声をかけて企画内容について少し相談をしてみた。「その企画だと、地元の事業者さんと連携するともっといい内容になるんじゃない?ちょうど向こうのテーブルでコーヒーを飲んでいる産業振興課の△△さんに相談してみたらどうかな?」カフェスペースはリラックスするだけでなく、思いがけない会話から新たなつながりや発想を生むきっかけになる。よし、だんだんと企画に色味がついてきた! (文章作成: 蔵元)



▶ 企画課・松本さんのある日

リラックスしながら会議

会議の開始時間になり、同じフロアにあるミーティングスペースに向かうとすでにメンバーがそろっていた。ミーティングスペースにはソファやイス、クッションが置いてあって、いろんな姿勢でくつろぐことができる。今回のミーティングは後輩のプレゼンテーションに対して意見を出し合うもので、約1時間で終わった。みんなリラックスしているからなのか、たくさんの意見が出た。特に、事前に私が後輩に修正を提案した箇所が上司にハマったらしく、えらくほめられたので、後輩と2人で小さくガッツポーズをした。(文章作成: 三原)

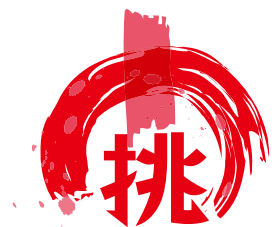


Trial
Project

テラスde仕事

プロジェクトチームのアドバイザーである京都工芸繊維大学の教授とその学生や、市内企業、プロジェクトチームメンバーで、空間のイメージを話し合い、理想の働き方を実現させるための新しいワークスペースを、現在の庁舎(別館3階のテラス)に整備しました。新しい庁舎ができるまで、まずはここで働いてみて、何かをうみだしてみることからはじめます。

Point クリエイティブな仕事をするためのこれまでにない環境が必要です。



チャレンジ

失敗を恐れず、新しいことにも果敢に挑戦！



SCENE_01

**集まれ！ 門真でチャレンジしたい人。
社会実験でどんどんトライ。**

広場や人の集まる空間に個人も企業も
チャレンジしやすい仕組みと場所をつくれます。
門真で～サポートします。

SCENE_02

**連携から生まれる
市役所発のイノベーション。**

市民・企業を交えたミーティングや
社会実験が庁舎エリア各所で行われ、
新たな価値創造ができる市役所。

SCENE_03

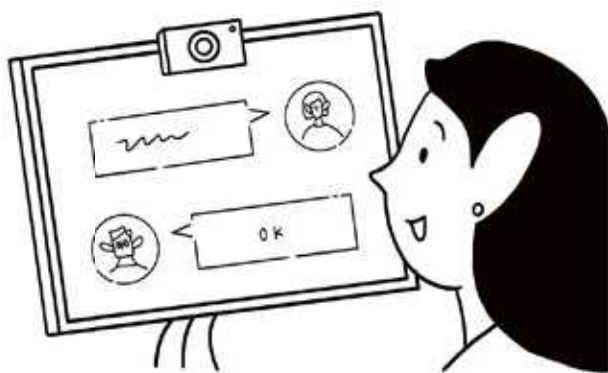
**定型業務はデジタル活用で効率的に。
空いた時間で積極的にチャレンジ。**

シンプルな事務作業や問い合わせ対応は、
ロボットによる自動化で、市民も職員も時間を有効に。
職員は新たな仕事にどんどんチャレンジします。

▶ 下水道整備課・杉本さんのある日

有効的な時間の使い手に

申請書類を大方仕上げたが、他課との調整がどうしても必要な箇所が残ってしまった。今や電子決裁となり、紙で回覧していた以前と比べると時間の余裕は見込めるものの、今日中には起案しておきたい。早速他課の担当者とチャットで連絡を取り、20分後に打ち合わせすることに。かつてはアポを取るだけのために、何度も電話をしなければならなかったが、今ではリアルタイムですぐにメッセージをやり取りできる。かつて多くの伝言メモをつくるために時間をムダに費やしていたことが、まるでウソのようである。(文章作成：巴山)



▶ ICT推進課・三原さんのある日

スマートでオープンな窓口

市役所に着くと、そこには大きなロビーが広がっている。奥には、窓口関係の部署が集約されていて、ライフイベントに関連する手続きをまとめてできるワンストップ窓口がある。ロビー中央には、大きなデジタル案内板が設置され、その日開催される会議やイベント、窓口の混雑状況などが映し出される。イベント情報に目を向けると、何なに、『18時から広場のパブリックビューイングでワールドカップ観戦イベント開催。皆で日本を応援しましょう!』と表示されている。もちろん応援するでしょと独りつぶやく。(文章作成：松本)



▶ 人事課・馬上さんのある日

五感で感じる自然の中のミーティング

昼食を終え、緑いっぱいのテラスでリラックスタイム。その後は、〇〇社とのミーティングのため、ロビーで待ち合わせをする。今日は外で自然を感じながらオープンエアなミーティングを行う。緑に囲まれ日の光が程よく気持ちいい。みんなの気分も上がり、リラックスした雰囲気、自然と話が弾んだ。私「ありがとうございました。」
△の件は上司に確認してまたご連絡します
〇〇社「ありがとうございました。」
よろしく申し上げます
(文章作成：小林)



Point 門真市が踏み出すためにポジティブ・シンキングな取り組みが必要です。



こちよさ

メリハリあるワークスタイルでこちよく働く！



SCENE_01

疲れた時はちゃんとブレイク。
ブレイク後の仕事がぐっとはかどる！

行き詰ったらテラスでコーヒーブレイク。昼休みには、広場でウォーキングブレイク。午後からの仕事に向けて睡眠ブレイク。適度なリフレッシュで効率UP！

SCENE_02

組み合わせによって変化する
フレキシブルオフィス。

モジュール化した可動式の什器で、個人ワークにもミーティングにも対応できる柔軟性のあるオフィスに。

SCENE_03

ひとりで集中作業！
時には落ち着いて。

個人のためのワークスペースで集中タイム。オンとオフ、個人ワークとチームワークのメリハリをつける。

▶ こども政策課・小林さんのある日

しっかり気分をリセットする

イベントの企画について、「テーマはいいけど、少し物足りないような…」とダメ出しされてちょっと落ち込む。自席でもう一度考えてみるも、なかなか気持ちを切り替えられない。休憩がてら少し散歩でもしようかな。市役所の1階には、緑がいっぱいでウッドデッキのウォーキングコースがあり、とても気に入っている。時間帯によってはベンチで昼食をとる人、犬と散歩する人、打ち合わせをする人もいる。暖かい日差しを感じながら、軽くストレッチ。よし!いい気分転換になったし、今日はあと1時間仕事して、16時には帰路につこう。(文章作成:馬山)



▶ 学校教育課・巴山さんのある日

個室で集中! メリハリのある働き方

駅につき、しばらく歩くとゆったりとした広場が広がり、その中にたたずむ市役所が見えてきた。庁舎に入ると広いロビーがあり、開放感が心地の良い気持ちにしてくれる。毎朝のルーティンである作業を行うために庁内のカフェでコーヒーを購入し、集中できる個人ワークスペースへ。視界の遮られている最適な空間は集中して仕事を行えるので、時間が経つのも早く、ふと時計を見ると11時30分となっていた。45分間の休憩を自由に取得できるため早めのランチをとろうと庁舎の隣にある広場へ向かった。(文章作成:杉本)



▶ 庁舎エリア整備課・里さんのある日

心地よい距離感のコミュニケーション

自席に戻る前に、3階のバルコニーで少し外の空気を吸っていこう。市民の方にも開放されているが、カフェスペースと並ぶ職員の息抜き場となっている。庁舎の前の広場が一望できて、目の前にはおなじみの京阪電車が走っている。バルコニーを見渡すと、上司が缶コーヒーをもって広場を眺めていた。「課長、お疲れ様です。来週の会議の企画についてなんですけど…」。自席や執務室内だと忙しそうで、ゆっくりお話をする機会が作りにくいけれど、こういう場だと普段より気軽に声をかけやすい。課長「それいい案だね。さすが里さん」(文章作成:蔵元)



Point 仕事の内容に応じた多様な働き方ができるしくみが必要です。



ワンチーム

市民も、事業者も、市役所も！
みんな門真を彩る仲間たち。



つながる

いろんな人が集まり、
つながり、笑顔あふれる！



SCENE_01

さあ12時だ、ごはんですよ～
ランチを持ってテラスに集合！

キッチンカーでランチを調達して、みんなで楽しくランチ。
市役所の他部署の人とだけでなく、市民や事業者も
一緒に美味しいものを囲めば、一気に距離も縮まります。

SCENE_02

リビング、カフェ、広場…
いろんな場所からつながれる。

ウェブ会議や紙資料のデータ化で、どこでも仕事場に。
多様な働き方でもデジタル活用すれば、
コミュニケーションや情報共有ができ、つながりは維持。

SCENE_03

機会と場所で
人と人をつなぐ。

社会実験や情報発信、PRの場。
機会や場を設けることで
人とのつながりづくりを応援します。

▶ 建築指導課・伊藤さんのある日

みんな空の下で

「もうすぐ12時になるし、昼ごはんでも食べに行こうか」と先輩がランチに誘ってくれた。庁舎前の広場は桜が満開だ。昼時には、花見目的の市民や会社員の方が芝生に集っている。現場での問題を一度忘れ、芝生にシートをひいて青空の下で昼食を食べる。先輩の同期と私の同期も広場にいたので、合流してみんなで食べた。同期は、早めにご飯を食べ終え周辺を歩きに出かけた。最近は気候もいいので、昼休みにウォーキングコースを歩く職員も多い。私はというと、歩くよりも眠りたいので芝生のうでで仮眠をとった。（文書作成：福壽）



▶ 地域政策課・蔵元さんのある日

食でつながるコミュニケーション

12時の音楽が鳴り、庁舎前の広場に来ていたキッチンカーに行列ができていた。新しく市内に店舗を構えた飲食店が、今日はキッチンカーで出張に来ているみたいだ。列に並んでいるとぼったり同期と会う。オンラインで画面越しに話すことはあったが、対面は久しぶりである。お弁当を購入し、2人でテラス席へ向かった。プライベートや仕事の話、今まで話す機会もなかった先輩も、いつの間にか輪の中にいて、仕事のことですっかり盛り上がりってしまった。庁舎エリアは思いがけない出会いにあふれている。（文書作成：里）



Trial Project

広場deBBQ

市内企業と連携し、庁舎エリアで薪焼きBBQイベントを開催しました。多目的なレクリエーションの場として活用するための課題等の抽出ができるとともに、庁舎エリアのイメージを変えていくきっかけにもなりました。広場ができる前から、広場の新しい使い手とつながりができたことは大きな成果です。



Point いろいろな人が出会い、関わるための空間・しくみづくりが必要です。



おもいやり

人に、まちに、環境に！

おたがいへの気づかいを大切にします。



にぎわい

ここは手続きのためだけの場所じゃない。

にぎわい、憩う、暮らしを豊かにする場所！



SCENE_01

愛着のある市役所は、
暮らしに寄り添う憩いの場。

勉強しにくるこどもと教える学生や大人たち。
休憩にくる人とギター演奏を聴いてほしい人。
いろんな人のいろんな過ごし方を受け入れます。

SCENE_02

多様な人が集い、
互いに寄り添い、支えあう。

庁舎エリアの利用を通じて、
ボーダーレスにまざりあう中で、高齢者、
子育て世代などをみんなで支えあいます。

SCENE_03

キッチンカーが集まる広場。
災害時は防災広場に大変身！

普段は、ランチタイムにキッチンカーが集まる広場。
災害時にはいつもの広場が防災広場に！
防災イベントで、市民の防災意識もアップ。

▶ 下水道整備課・杉本さんのある日

市民の暮らしの一部になる市役所の風景

休憩時にふとカフェの窓から外の公園を見る。芝生の上で市民の方たちが思い思いに過ごしている姿が目に入る。ウォーキングトラックや健康器具を使い体を動かしている高齢者の方や、水辺で遊ぶ親子連れなど、以前の市役所では見られなかった風景であり、「QOL (Quality of Life) の豊かさ」という言葉が脳裏に浮かぶ。少し離れたところでは、午後におこなわれるこども向けのワークショップが準備されている。夕方から映画の上映がおこなわれるそうだ。自分も参加して、仕事後のビールを飲みながらのんびりしようかな。（文書作成：巴山）



▶ 庁舎エリア整備課・福壽さんのある日

最高のアフタータイムを広場で

終業後は広場でBBQ。市役所前の新たに整備された防災広場で民間事業者が催すもので、同期たちと参加する約束をしている。この時期の野外での食事は格別だ。同期たちとテーブルを囲んでBBQを楽しむ。話はどんどん盛り上がり、ネタは尽きない。家族のことから仕事のこと、趣味の話では「この広場で釣りとかしたくない?」「水はあるけどさすがに釣りは無理やろ!」と盛り上がる。食べて飲んでしゃべって、1日の疲れが一気に吹き飛んだ。名残惜しいがまた次のBBQも参加しようと約束をして帰路につく。（文書作成：伊藤）



Trial
Project

広場deフリマ

みんなの暮らしの中に庁舎エリアの広場を組み込んでもらうために、総合体育館でのイベント実施にあわせ、フリーマーケットを企画しました。訪れた人に、新しい庁舎エリアのPRをするとともに、どんな広場がいいか投票してもらい、キャンプ、運動、フリマなどいろんな使い方に夢が広がりました。

Point みんなが集い活動するための暮らしの一部となる場所が必要です。

PTメンバー
集合写真

門真市庁舎エリアの整備について

防災性の向上や居住環境の改善を図るため市街地の再整備を進めてきましたが、「防災機能を有する公園整備」及び「老朽化した市庁舎の建替え」が残された課題となっていました。

令和4（2022）年4月に、まちづくりの方向性をまとめた「門真市庁舎エリア整備ビジョン」を策定し、さらに基本的な考え方や整備方針、事業スキーム等を提示し、公民連携による庁舎エリア整備へと展開していくための考え方を示す『門真市庁舎エリア整備基本構想』を令和5（2023）年 月にとりまとめ、今後、整備の実現に向けて、事業を着実に推進していきます。



*Various colors make
Kadoma colorful !!*

[発行] 門真市庁舎エリア整備プロジェクトチーム [問い合わせ] 門真市まちづくり部庁舎エリア整備課

〒571-8585 大阪府門真市中町1番1号 TEL 06-6902-6379 FAX 06-6902-1231

<https://www.city.kadoma.osaka.jp/>

[編集・デザイン] 株式会社地域計画建築研究所、株式会社タケコマイ [イラストレーション] atelier minori

令和5（2023）年 月発行